

平成30年度 延岡市立島野浦中学校 学校関係者評価書

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営 ビジョン	島野浦の特徴（人・もの・こと）を生かした教育活動を展開し、社会で通用する力、社会で大切にされる資質をもった生徒を育成する。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己	関係者	結果の考察・分析および改善策等
				取組別	評価	
知育	<b>【重点目標】</b> 確かな学力の定着と主体的な学習の推進 <b>【目標達成のための手段・具体的な取組】</b> 1 わかる・できる授業の実践～確かな学力を育むための授業改善 （教師自身の授業力向上を目指した一人一研究の取組とICTの活用と工夫）	○ 全職員が2回以上の研究授業の実施。 ○ 生徒・保護者アンケートで「わかる」「できる」と答える生徒6割以上。 生徒：92.3% 保護者：91.7%	○ 主題研究を推進し、諸検査の分析結果をもとに、教科の指導方法の工夫改善を行い、授業力の向上を図る。 ○ 個に対応した指導法を共有し、個別に指導する時間を確保する。 研究授業 3回実施 （2回は、指導主事参観）	3	3	○ 授業改善により、生徒の満足度も上がった。 ○ 全体としては、高い数値だが、個別に見ると課題を抱えている生徒もいるため個に応じた指導をさらに行っていく。 ● 家庭学習の見届け（生徒：66.7% 保護者：50%）であるため、見届けの手法や内容を保護者に示し、連携を図る。 ○ 家読の推進を啓発していくために、メディア使用の実態を把握し、指導を行う
	2 徹底した個別指導～学習内容の補充・深化「SSタイム」と「島中学びタイム」の実践 （校時程を工夫して帰りの会終了後10分間を設定し、各教科の基礎・基本の定着を図る）	○ 地区・県単位のテストで地区平均点以上。 ○ 生徒・保護者アンケートで達成感、充実度6割以上。 生徒：91.7% 保護者：81.8%	○ 「SSタイム」で授業を振り返り学習内容を見直し、基礎基本の確実な定着を図る。 ○ 「学びタイム」で、テスト前の勉強法や質問を受け、個別に対応する。	3		
	3 学力の定着を図るための家庭学習の見直し	○ 充実度6割以上。 生徒：76.9% 保護者：83.3%	○ 「SSタイム」で授業と家庭学習の仕方を指導する。	3		
	4 読書をする習慣の定着～学校での朝読書家庭での家読の習慣を推進する。	○ 生徒・保護者アンケートで達成感、充実度6割以上。 生徒：84.6% 保護者：50%	○ 朝の読書と読み聞かせの時間の設定を行うとともに、意欲的に取り組むように工夫をする。	2		
徳育	<b>【重点目標】</b> 心の教育の充実 <b>【目標達成のための手段・具体的な取組】</b> 1 あいさつや基本的な生活習慣の徹底～「語先後礼」「島中授業の5原則」の実践	○ 生徒・保護者アンケートで実践度6割以上。 生徒：100% 保護者：100%	○ 日常の学校生活を通して、全職員が一貫した指導を行う。 ○ 生徒会活動で自発的な取組を行う。	3	3	○ 校内でのあいさつや生活習慣に問題はないが、校外や家庭でのあいさつ等の指導を今後も継続していく。 ○ 必要なスキルを生徒自身にも考えさせ道徳の時間や学校生活においてスキルを獲得する教育活動を意図的に組む。
	2 ライフスキルの育成～島を離れ、社会で大切にされる資質を育む。	○ 生徒・保護者アンケートで達成感、充実度6割以上。 生徒：100% 保護者：100%	○ 道徳の時間等を活用し、計画的に社会で必要な資質や能力（ライフスキル）を育む。	3		

